

陳情第15号

流山都市計画事業木地区一体型特定土地区画整理事業67街区におけるマンション建設に伴う陳情書

(陳情趣旨)

南流山木地区の住宅地に住む私たちは、交通がまだ不便だったところに、流山に移り住んで40年近くになります。近年は、流山が人気の街と評価され、多くの若い方達が、移り住んで来られるのはうれしい事です。

また、多くの方が、流山の豊富なみどりと緑のある風景や教育環境の良さ、また議会改革が進む将来性のある都市である事も流山の魅力として挙げられているようです。

しかし、県の区画整理による木地区67街区にて進められているマンション計画は、千葉県の方針、流山市の景観条例やその他の街づくり計画に十分適合しているとは言えません。

特に67街区は、景観計画重点区域に指定されており、景観計画ガイドラインでは、さまざまな基準が、具体的に示されていますが、事業者は、それを十分に守っているとは思えません。

これらは、流山をさらに魅力的な街にするために、市民と議会が決めた重要なルールです。大規模開発は、地域に与える影響は計り知れないものがあり、企業の協力なしに魅力的な街づくりをするのは困難です。

(陳情項目)

- 1 流山市の街づくり計画・景観条例などを遵守するような指導をするよう市当局に働きかけをお願いします。
- 2 良好な街づくりのために千葉県が作った木地区の街づくりの方針を、尊重するような指導をするよう市当局に働きかけをお願いします。
- 3 千葉県に事業者が提出された計画に沿って住民と十分に協議するような指導をするよう市当局に働きかけをお願いします。

平成25年8月23日

陳情者



流山市議会議長 海老原 功一 様

請願第3号

中小業者の自家労賃を必要経費として認めることを求める意見書提出に関する請願書

(請願趣旨)

この請願は、中小業者の自家労賃を必要経費として認めるために所得税法56条を廃止していただきたく、意見書の提出を求めるものです。

私たち中小業者は、地域経済の担い手として、日本経済の発展に貢献してきました。

しかし今、長引く不況で、中小業者は倒産、廃業などかつてない危機に直面しています。

こうした中でも、業者婦人は自営中小業者の家族従事者として、営業に携わりながら、家事や育児、介護と休むまもなく働いています。しかし、どんなに働いても家族従事者の「働き分」(自家労賃)は、税法上においては所得税法56条「配偶者とその親族が事業に従事したとき、対価の支払いは必要経費に算入しない」(条文要旨)により、必要経費として認められません。

事業主の所得から控除される働き分は、配偶者の場合は86万円、その他の家族従事者は50万円です。また、配偶者もさることながら、息子や娘など家族従事者は、わずか50万円の控除が所得とみなされるため、社会的にも経済的にもまったく自立できません。家業を手伝い、引継ぎたくてもできない状況は、後継者不足に拍車をかけています。

所得税法56条は、法の下での平等を定めた(憲法第14条)、両性の平等(同24条)、財産権(同29条)などに違反しており、人権問題です。税法上では、青色申告にすれば、給料を経費にすることができますが、同じ労働に対して青か白かとの申告の仕方で差別するのは、おかしい。

家族であれ、他人であれ働いた事実には給料を払うのは、当然の事であり、基本的人権を侵害しています。

明治時代の家父長制度そのままに、人格や労働を認めない人権侵害の法律が、現在も業者婦人や家族従事者を苦しめています。ドイツ・フランス・アメリカなど、世界の主要国では「自家労賃を経費」として認めている中で、日本だけが世界の進歩から取り残されています。

現在税理士会をはじめ全国で371余の自治体が国に意見書をあげる採択をしています。そのうち千葉県では、佐倉市・一宮町・大網白里町・勝浦市・御宿町・長生村・大多喜町が採択し7自治体となっています。私たちは、税法上も、民法、労働法や社会保障にもかかわる人権問題として、早急に所得税法56条を廃止し、自家労賃を必要経費として認めることを要求します。つきましては、貴議会が請願趣旨にもとづき、国と関係省庁へ意見書を提出していただくよう、以下の項目を請願いたします。

(請願項目)

- 1 家族従事者の労働の社会的評価と働き分を認め、一人ひとりの働き分を認めない所得税法56条は廃止し、中小業者の自家労賃を認めることを求める意見書を国に提出してください。

平成25年11月18日

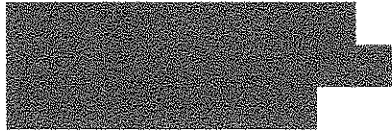
紹介議員

植田 和子

徳増 記代子

乾 紳一郎

請願者



流山市議会議長 海老原 功一 様

陳情第17号

新聞への消費税軽減税率適用を求める意見書の提出を求める陳情書

(陳情趣旨)

私たちは、新聞をふくむ文字文化は、日本の国を形作ってきた基本的財と考えます。

新聞は国内外の多様な情報を、その戸別配達網により当県下へ、全国へ、日々ほぼ同じ時刻に届けることで、国民の知る権利と議会制民主主義を下から支え、あわせて文字文化興隆の中軸の役割を果たし続けています。

国土も狭く資源も少ないわが国が世界有数の先進国となったのは、伝統的な勤勉性ととともに、新聞の普及と識字率の高さが、学力・技術力を支える役割を大きく果たしてきたことは広く認められるところです。欧米の例をみても、大半の先進国が新聞への軽減税率措置を執っている所以です。

近年、活字離れが進むなかで、書籍とともに新聞も購読率の低下傾向にあり、新聞をまったく知らないで育つ子供が増えるなど、次の世代の知的水準へ深刻な影響を及ぼすものと深く憂慮されています。加えて今回の消費税引き上げにより、新聞離れが格段と加速される恐れがあると危惧します。

よって消費税率が8%、10%いずれの段階でも新聞への軽減税率を導入されることは、極めて肝要な施策と考え、下記について、地方自治法第99条の規定にもとづき国への意見書を提出していただきたいと願い、陳情いたします。

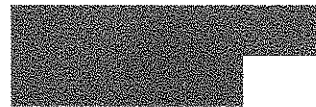
記

(陳情項目)

- 1 消費税引き上げにさいし、新聞への軽減税率の適用を実現すること。

平成25年9月27日

陳情者



流山市議会議長 海老原 功一 様

地球社会建設決議に関する陳情書

世界的前提が変われば、戦争のない世界が実現します。その前提を変える為の決議を要請します。人類生存の前提、核廃絶の為に平和市長会議に参加している貴議会の責務です。

平成 25 年 10 月 28 日

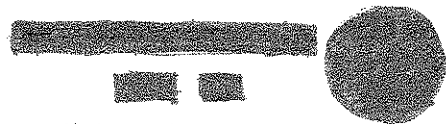
議会

議長

殿

陳情者

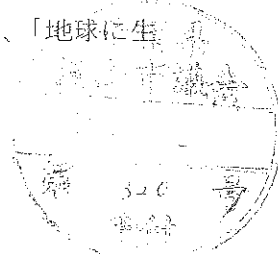
〒[REDACTED]



地球社会建設決議草案（戦争のない世界実現への基本原則）

ご 説 明

家族を守り、故郷を守り、国を守り、地球を守る為に、戦争を滅ぼさねばならない。全ての人間が地球で共同生活をしており、戦争をしなければならない理由は全くない。「国を守る為」と称し、全ての国家が、戦争の準備に狂奔しているが、全くの錯覚である。全ての人間の共同体社会、地球社会建設を目指せば、戦争は自然消滅する。その決議を要請する。人間の尊厳・生命・自由は、全ての人間にとって最重要であり、人道・人権の理念は、全ての人間を守る普遍的理念である。人間の社会的生存権は、全ての人間に備わる基本的権利であり、民主主義は、その権利を守る唯一の理念であり、システムである。社会の目的は、全ての人間の生存を保障する事であり、弱い立場の方々への配慮は社会責任であり、その理念は社会主義である。地球の恩恵である空間・空気・水・緑・資源・そして太陽。これらは、全ての人間の共有であり、その使用は貸借であり、独占はあり得ない。これらの理念は全ての人間の人生を守る基本理念であり、人間社会はこの理念の上に構成されなければならない。この基本理念は、全ての人間を守る理念であり、その普遍性は、いかなる国家、宗教、民族、主義の主張よりも、重く、神聖にして冒す事は出来ない。この基本理念の上に構成されるならば、国家社会に、何らの不合理はない。ただ、今現在の国家社会は、その国益を全ての人間の利益より優先させ、「国益を守る為には、状況により、人間を殺してもいい」とする考えで、戦争の準備に邁進している。その国益を判断し、国家行動を決定するのは、権力側であり、「国民という立場の人間」はその権力に支配され、従属を余儀なくされている。2013年現在、世界は、国家主権思想に支配されている。「国を守る為」という言葉が冠されれば、どのような悪虐な行為でも、正当化されるのは、国家主権思想が、人類の普遍的理念を蹂躪している為である。世界が危機的状況に陥り、日常的に非道悲惨な現象が絶えない根源を、明確に認識すべきである。宇宙の地球という空間で、誕生・成長・生殖・育児・衰死という循環する生命が発生し、その生命の種の一つとして人類がある。西暦 2013 年現在、その人類を含み、全ての生命が、滅亡の危機に曝されている。核兵器の存在である。人類は、核兵器廃絶という命題を克服する事でのみ、その生命の存続がある。この命題は、人類の未曾有の試練であり、試練の克服は、人類社会をより高度な社会に導く。国際社会という「錯覚による自滅システム社会」から、「地球に生



活する全ての人間の共同生活体を安全にし、豊かにする為に、全ての人間が努力する地球社会」への進化である。人類が直面している試練を克服する為に創造された「平和市長会議」に参加している貴議会に、下記の「地球社会建設決議」を陳情する。

前文

すべての人間が地球で共同生活をしているのが世界である。この世界は、構成する一人一人の人生を守る為にある。地球社会建設決議は、この目的を達成する為に決議されるものである。この決議は「人類が永遠に戦争を放棄する」事を意味し、安全で豊かな未来を建設する為に、全ての人間が努力を始める事を意味するものである。この目的が明確になれば、その為の社会技術の開発に多大な努力が要請され、その結果、世界は、社会は、より高度な領域へと方向付けられるであろう。世界の片隅の自治体に所属する我々も、この地球共同生活体社会の一員である。我々は、この世界に生きる一員としての立場から、そして、この世界での生存権を有する者として、この共同体社会に、全ての人間の一人一人の人生の尊厳を守る責任を課し、その責任を果たす為に進化を要請するものである。

我々は、この上ない誇りを持って、以下を決議するものである。

- 1) 全ての人間が生活している地球共同体社会をより安全に、より豊かにしようとする思い、努力、行動こそ、地球に生活する市民としての人間の義務・責任である、とする決議。
- 2) 「国家の軍備は当然」という認識は「国益を守る為には、人間を殺してもいい」とする考えが前提で為されている。この認識・考えは、人類の歴史の過程での錯誤である。この考えは、多数を、それこそ、すべての人間を虐殺する準備を、国家に正々堂々と行なわせている。国家の軍備行為、戦争の準備行為は、人類を消滅しかねない極めて危険な行為であり、この行為は違法行為であり、重大な犯罪行為である。「国家に戦争を発動する権利はない」とする決議。
- 3) 地球共同体社会。すべての人間を守る唯一の社会。この社会を損ねるのではないか、という危機が生じたなら、たった一人でも、その危機を表明しなければならない。この表明は地球を、社会を、すべての人間を守る尊い行為である。いかなる国家、いかなる宗教、いかなる価値観であろうと、人間の尊厳を傷つける危機があれば、告発しなければならない。この行為は地球市民の義務・責任であるとともに、基本的権利である。とする決議。
- 4) 人道・人権は世界法である、とする決議。従って、戦争行為は重大なる犯罪行為である。命令発信者は、もとより、命令受諾行為者も、その責めを免れる事は出来ない。
- 5) 地球社会全体を守る組織が創造されれば、地球社会の一部である国家防衛も万全となる。地球社会防衛隊を創設しよう、とする決議。
- 6) 空・陸・海・地下の空間、石油・鉱物等の資源は、地球に現存するすべての市民の共

有、とする決議。地球に生きる市民は、共有資産の使用に対価が伴い、この対価は、地球社会防衛隊等、地球社会運営の基礎財源である事を認識する、という決議。

7) 生存の基本的権利である人間の尊厳を守るのは民主社会主義社会である、とする決議。

8) 社会の主権者は市民であり、その確立の為に民主主義技術を高めよう、とする決議。

9) 地球社会の柱は、最高意思決定機関の創設である、とする決議。

10) より安全で、より豊かな地球社会建設には更なる社会技術の向上が必要である、とする決議。

11) 産業革命以来、200年余、産業社会化が拡大し、実に多くの人々に福利をもたらした。これからも、地球規模の産業社会化を目指し、全ての人間にその福利が行き渡るように、全ての人間が努力せねばならない、とする決議。

12) 全ての人間を守り、全ての人間の利益となる考えは普遍的価値観である。この価値観を蹂躪する言葉、行為は、いかなる人間、いかなる集団の指導者であろうと、人類への敵対行為者である、とする決議。

参考文献；国家権力は戦争の起爆装置

ドイツ権力がヨーロッパ支配の夢に取りつかれ、第一次世界大戦に突き進み、殺戮、破壊の地獄を。日本権力が大東亜共栄圏という傲慢な夢に取りつかれ、勝てない戦争に突き進み、殺戮、破壊の地獄を招きました。ヨーロッパの支配という夢、大東亜共栄圏の夢が何故、戦争の動機になるのでしょうか。あなたは理解出来ますか。現時点のドイツ人、日本人にも理解出来ないでしょうし、おそらく、当時のドイツ人、日本人にも理解出来ない事でしょう。この何故を解明する努力が、戦争という愚劣な行為が何故発生するのか、を解明し、戦争の愚劣さを暴き、戦争を滅ぼす道を開くでしょう。

この戦争を滅ぼす道を開く仕事は、本来、ジャーナリストの責任です。社会正義を追求し、社会の安全を確実にし、市民を「ペン之力」で守らねばならない責任を有するジャーナリストの仕事だと指摘させていただきます。

司馬遼太郎は、「国家は生理として膨張を欲する」と語り、デビット・ハルバースタムは「拡大する事によって生きていこうとする全ての組織に見られる生理現象」と指摘し、「戦争は権力の生理である」事を示唆しています。「生理的現象」とは、人間が異性を求めるような性格を、つまり、生命体の本質・本能を表現する言葉です。膨張・拡大、つまり強大化を目指す本能こそ、「戦争の起爆装置」です。

この本能に加え、権力には、様々な特性が備わっています。

○権力内部では、常に、熾烈な権力闘争が繰り返されています。この権力闘争が様々な現象を発生させます。偽善、へつらい、追い落とし、人間の悪徳が横行しています。権力内部での力の獲得は、個人の持つ本来の欲求、「勝利者」の立場を確立します。その悪徳の醜悪さが、権力の本質に繋がります。レベルの低い権力は、その醜悪さが露骨に表れ、人間

の尊厳を侮辱し貶めています。人間の心を持っているならば、その醜悪さに耐えられない筈です。私は耐えられないからこそ、皆様にその思いを伝えているのです。

○権力にとって、都合の良い言葉、心地良い言葉が幅を利かし、客観性が損なわれ、その判断が偏るようになり、一つの判断ミスが発生すれば、その判断を守る為に、更に悪循環に陥るようになります。

○権力は、その巨大さ故、権力闘争の混乱などから、常に内部崩壊の危機に曝され、その克服の為、求心力を高める為に「外的」を求めます。この生理も起爆装置です。権力は弱腰を嫌います。権力は支配する力を強大化しなければならない本能が突き動かしているものです。弱気・弱腰は、その本能に逆らう事になります。弱腰は、権力の中から放逐される事を意味します。激しい権力内部での熾烈な闘争の中で弱腰を見せる事は敗北を意味します。予想される事態より、強気の景気のいい言葉が優先されます。

○権力は腐敗する。権力を構成しているのは、人間です。人間は様々な欲望を内在しており、権力の持つ力、社会の支配力が、個人の、組織の生殺与奪の力を持ち、その力を背景にすれば、その欲望から、不当な欲求に本人自身が支配されるようになってしまいます。権力の腐敗は、必然であり、必至です。権力の腐敗がどのような現象を引き起こすかは、説明するまでもない事だと思います。

○文民統制（シビリアンコントロール）は不可能。日本の戦前・軍国主義の歩みを観察すれば、理解出来る事です。支配力の強大化を目指す本能を持つ権力の中心的な力は、「暴力」つまり軍部です。一見、権力の理性を見せる文民が、軍部をコントロールできる建前がありますが、所詮、見せかけです。日露戦争に勝利した日本軍部は、「傲慢」という弱さが宿りました。アメリカに警戒されるようになり、仮想敵国の立場を獲得し、軍備強化にますます、邁進するようになりました。石原莞爾。軍人が、戦争の発生を心配する文民を、何ら配慮する事なく、満州事変を起こしました。その後、5・15、2・26など、軍人の力を見せつけようという暴力事件が次々と発生しました。結局、文民は、軍人の暴走を止める力を持たず、日本は、対米戦争に突き進み、地獄へと導きました。ドイツも日本と同じでした。軍部が、ドイツの勝利を誇大に語り、愚かな文民が引きつられ、ベルギーに侵攻しました。戦争が始まれば、文民は何もできません。現場の意見が支配するのが必然だからです。戦争は、一端、火が付けば、誰にもコントロールできなくなります。真珠湾から1年もたたずに、日本が戦争に負ける事は、明らかになっていました。しかし、戦争を終わらせる事が出来ず、必要のない犠牲者を、どれほど殺した事か。

「戦争を滅ぼさねばならない」。この思いで努力してきました。その努力が、いまだに理解されません。地球社会建設決議を無視する議員達、ジャーナリスト達、その他の方達の無

理解・無視、むしろ軽侮の姿勢すら感じさせるのは、信じられない事です。

○人間を「塊」として見る癖、というより、社会考察、社会運営判断にとって、短絡的に「塊」として見た方が、処理しやすい為に、例えば、アメリカの3億の人々を、ひと固まりで、「アメリカが」という一言で処理してしまいます。3億の方々の一人一人の人生がどれほど、尊いものかを、見ていません。中国の人々、パレスチナの人々、イラク、アフガン、イスラムの方々の一人一人の方々のそれぞれの人生が、どれほど、尊いものか、見ていません。この尊さが見えれば、「戦争を想定する」という行為は、絶対に出来ない筈です。それが、今の時代は、権力をはじめ、ジャーナリスト、あらゆる方々が、地球で生きている70億人のそれぞれの人生が、どれほど、尊いか、考える事さえしていないのです。だからこそ、地球市民建設決議を、無視出来るんです。

○権力自体での自己改革は、ほとんど不可能です。アメリカに、民主主義を侵害する「ロビー活動」という行動が容認されています。9・11のテロを呼び込んだ、イスラエル絶対最良政策は、アメリカ・イスラエル協会というユダヤ人団体が、カネと票の力を駆使して、政治家に強要する事によって、為されています。銃乱射事件を発生させ、その度に、銃規制の声が上がりながら、何らの進展もないのは、ライフル協会のロビー活動の成果です。どちらのロビー活動も、結果、大量の方々の人生の尊厳が奪っているのです。アメリカ自体で改革は不可能です。外部からの内政干渉が必要です。地球市民の立場であれば、この内政干渉を堂々で行う事が出来ます。内政干渉は、人間社会の発展・高度化に繋がり、多くの方々の人生を豊かにします。内政干渉をしなければならないのは、アメリカだけではありません。中国・ロシア・イスラエル・イラン・・・ほとんどの国家権力に対し、内政干渉が必要でしょう。その内政干渉が出来るのは、地球市民であり、その地球市民に根拠を与えるのが、地球社会建設決議です。解らねばなりません。

貴方は、今の世界の核兵器をはじめとする爆発装置の強大化に何の疑問も感じないのですか。人間を「塊」でみることの恐ろしさを自覚しなければなりません。地球に生活している全ての方々に、尊い人生があり、社会は、その全ての尊い人生を守らねばならないのです。解らなければなりません。権力は、絶対的な欠陥を内在させており、強大な爆発装置の起爆装置になるのです。解らねばなりません。

地球社会建設決議を行った後、その尊い実践をヒロシマに伝え、ヒロシマに、平和市長会議の参加都市に、その事を伝えるように、要請して下さい。ヒロシマは、68年前から、核廃絶の願いを世界に表明し、その旗の下に、人々が参集するように、行動してきました。地球社会建設決議は、核廃絶を実現する唯一の手段です。ヒロシマの責任を果たさなければなりません。北朝鮮の核兵器の脅威を一日も早く失くす為には、一日も早く、行動しなければなりません。その唯一の手段が、地球社会建設決議です。解らねばなりません。

陳情第19号

流山市歯と口腔の健康づくり推進条例（仮称）の制定を求める陳情書

（陳情趣旨）

歯と口腔の健康は生涯を通じて自分の歯でしっかりと噛んで食べることを可能にするだけでなく、バランスのとれた適切な食生活を送ることで肥満や糖尿病などの生活習慣病の予防にもつながるものです。

また、幼児期のむし歯予防は子どもたちの健全な成長を促し、高齢者や要介護者の口腔ケアは誤嚥性肺炎等の予防だけでなく、食生活の充実など生活の質（QOL）を高め、健康寿命の延伸に寄与することが期待されます。

このように歯と口腔の健康づくりは全身の健康づくりを実践するうえで大変重要な役割を担っていることから、健康を保つためには市民が日常生活において自ら歯と口腔の健康づくりに取り組むことを促進し、また歯と口腔の保健サービス、医療サービスを受けることができるような環境を整備することが必要です。

しかし、現在の流山市の歯科保健施策は根拠法令が「母子保健法」や「学校安全保健法」などに分かれており、生涯を通じて一貫した施策に取り組めるようにはなっておりません。

国においては「歯科口腔保健の推進に関する法律（平成23年8月10日施行）」が制定され、千葉県にあっては「千葉県歯・口腔の健康づくり推進条例（平成22年4月1日施行）」が施行されています。

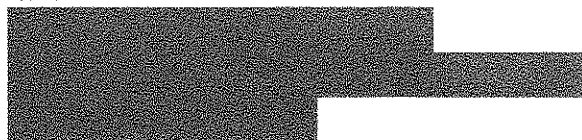
そこで、流山市でも幼児期から高齢期までライフステージを通じた歯科保健施策を総合的かつ計画的に推進し、もって市民が生涯を通じて生き生きと元気に過ごせるようにすることを実現するために、下記事項について陳情します。

（陳情項目）

市民が日常生活において自ら歯と口腔の健康づくりに取り組むこと、並びに市民が生涯を通じて歯と口腔の保健・医療サービスを受けることができるような環境を整備することを基本理念とした「流山市歯と口腔の健康づくり推進条例（仮称）」を制定していただくよう市へ働きかけてください。

平成25年11月15日

陳情者



流山市議会議長 海老原 功一 様

陳情第20号

公共施設の木々や市民の森の適切な整備に関する陳情書

(陳情趣旨)

流山の市民の森や公共施設の林は、市民の憩いの場所となっています。

しかし、最近の多雨や台風、地震による地盤の弱体化などで景観が衰え、危険も増している所もあります。たとえば風雨や地震で倒れそうな木がみられます。近くに家屋があったり、通行人がいると重大な事故になりかねません。

杉などは下枝が枯れているものもかなり見られます。特に気候の変動や地震があった時は、定期的な手入れだけではなくその都度調査し、専門家による対策が必要です。

さらに市民の森は、流山市のホームページにありますようにいまだに放射能が高い所もあり、安全な場所とは言えません。

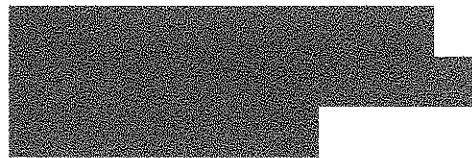
森林の間伐・伐採や除染などは「自然や緑の保護」を考えながら適切に行わなければ、森は荒れていきます。専門家による長期の見通しのたった適切な管理を行う必要があります。

(陳情項目)

- 1 台風や多雨・地震などの自然災害があったときは、流山市の市民の森や公共施設の木々の状態を詳しく調査し、安全確保のための対策をその折にとってください。
- 2 森や林の整備や伐採は専門業者によって長期の見通しをたてて行い、適切な体制で森林の保護を行ってください。
- 3 放射能が高い市民の森の除染を、安全と森の保護を考えながら丁寧に行ってください。

平成25年11月18日

陳情者



流山市議会議長 海老原 功一 様